



小平第十小学校

所在地 小平市上水本町四丁目4番1号
 電話 042-321-5576 FAX 042-321-5561
 電子メール gakkou@10.kodaira.ed.jp
 校長 山縣 弘典 副校長 小澤 泰斗
 児童数 692名 学級数 23学級
 教職員数 33名

【沿革】(抜粋)

昭和40年 小平市立小平第十小学校開校
 50年 開校10周年記念式典 校旗完成、校歌制定
 60年 新校舎完成 開校20周年記念式典
 平成7年 開校30周年記念式典
 17年 開校40周年記念式典
 27年 開校50周年記念式典
 31年 東京都型学校運営協議会設置
 令和2年 コミュニティ・スクール設置
 6年 特色ある教育活動推進校

【教育目標】

◎考える子 ◎やさしい子 ○やりとげるとたくましい子
 考える子、やさしい子の育成を重点とし、全教育活動を「かかわる力」に視点を置いて進める。

【経営方針の具現化に向けて】

- 十小の全スタッフが大切にすること
 - 健全な倫理観、社会性、スピード感
 - イノベーションスピリッツ
 - 予防、予見、高いアンテナ
 - 相互理解、相互尊重、相互感謝
 - 地域を大切にすること。
- 「よいところをもっとよく」を基本に実践を進める
 - 教職員一人一人のモチベーションを教職員相互が理解して、創意とチャレンジ精神にあふれた教育活動を展開する。
 - 分掌一人一提案を進め、組織・分掌を活性化させる。
 - より高い教育を求めて全教職員が研修を続ける。
 - 新たな教育課題への対応や社会的な変化等に強い組織をつくる。
- 「確かな児童理解・きめ細かな指導」を徹底する
 - 子どもたちと共に学び、共に遊び、共に汗を流し働く。
 - 個に応じた指導を工夫し、子ども一人一人の学ぶ力を伸ばし、生かす。
 - 子ども一人一人に活動する場を用意し、個性を伸ばす。
- いじめ、不登校、問題行動、人権侵害などへの早期対応体制を確立する
 - 学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの予防に係る教職員の感度と児童理解を深化させ、初期対応にスピード感と丁寧さをもってあたる。また、「人権教育プログラム」を活用して、差別や偏見をなくし、よさを認め合う「他の人も自分も大切に」人権教育を推進する。
- 地域の伝統を守り、新たなことにも挑戦する十小コミュニティ・スクールとして、本校・地域の活動を充実させる
 - 児童、保護者、地域、教職員が積極的に参画して誇り・自慢となる「十小コミュニティ・スクール」にする。
 - 地域の思いや願いを形にする。
- 学習指導・生活指導を通して、学ぶ意欲と学び続ける態度、よりよく生きる実践力を育てる
 - 授業改善に力を入れ、学ぶ楽しさを実感させながら「学ぶ意欲」を高め、誰一人取りこぼさない授業をめざす。
 - 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と活用を図り、「教えて、考えさせる授業」を進める。
 - 学習者用端末を活用した授業や学習活動、大型テレビ、書画カメラ、デジタル教科書などを積極的に活用して分かる・できる授業をめざす。

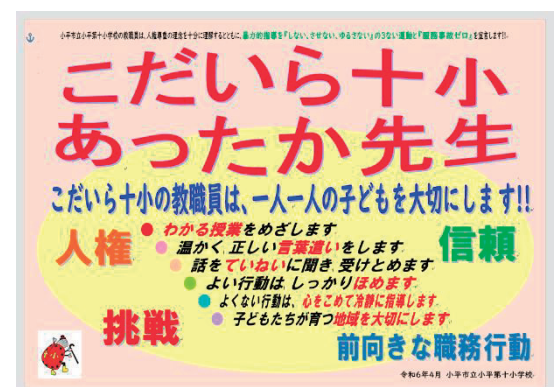


7 「基本的生活習慣」の定着と社会性を育てるために、集団指導と個に応じた見届ける指導にメリハリを付けながら指導を行う

- 学校は集団における学びの場であり、小平四中、上水中、他中学校、上級学校、社会人を見届けて指導を行う基礎の場が小学校であることから、「先あいさつ」「げた箱かかと揃え」「傘束ね」「廊下歩行」などの凡事を徹底する。

【本年度の特色ある取組】

- 給食の時間を長くする
 - 給食時間をこれまでの40分間から通常の授業時間と同じように「45分間」確保する。
- 児童も教職員も多様な人間関係など、「かかわる力」を育て高める機会を創出する
 - 他者・自分・もの・こと・地域・公共（公園、施設）、安全（道路・通学路の歩き方等）などによりよくかかわるためにどのようにしたらよいかを考えたり、実践したりする時間「かかわりタイム」を設定する。
 - 本校の特色ある取組として長く行ってきた「異学年きょうだい学年等の取組」や「なかよし班活動」をより活性化するために教室配置を「きょうだい学年」で配置する。
- 近年の気象傾向を踏まえ、11月に運動会を実施する
 - 春、夏、秋の猛暑・酷暑傾向を踏まえ、運動会を11月に実施する。
- 「交換授業」や「教科担任制」に全学年で挑戦する
 - 一部の教科等で、教員間で調整を行い、交換授業や教科担任制に取り組み、一人のこども、一つの学級を「オール学年、チーム学年」で育てる。
- 市や都の事業を活用して、教職員の資質向上、児童理解第一の促進を図り、子どもたちに還元する
 - 市教育委員会の「特色ある教育活動推進校」として「特別活動」の実践的研究に全教職員で取り組む。
 - 都教育委員会の「子供が安心して生活できる学校づくり検証事業」指定校として、いじめに係る未然防止、こどもの変化の気付き、対応力、連携体制等の強化を図る。
 - こどもを大切に育てる教職員の志と行動を一にする本校独自の合言葉「こだいら十小 あったか先生」を進める。
- 令和7年度、開校60周年を念頭に、地域のキーステーション、地域のよりどころとなるような挑戦を進める
 - 学校図書館や中庭を市民（乳幼児の親子等）の方々へ一部開放することなど、様々な方々と連携して試行する。





小平第十一小学校

所在地 小平市花小金井四丁目16番1号
 電話 042-462-0810 FAX 042-462-2077
 電子メール gakkou@11.kodaira.ed.jp
 校長 上松 久美子 副校長 奥原 裕
 児童数 681名 学級数 23学級
 教職員数 32名

【沿革】 (抜粋)

昭和42年 小平市立小平第十一小学校開校
 44年 プール完成
 45年 校章制定、校歌制定
 市研究推進校研究発表 (国語)
 49年 校地拡張、体育館完成
 51年 文部省地域指定道徳教育研究発表
 52年 開校10周年記念式典
 53年 校舎増築工事完成
 62年 開校20周年記念式典
 平成5年 大規模改修工事終了
 7年 時計塔完成 (故 志賀先生寄贈)
 8年 ボランティア協力校
 9年 プール全面改修工事完了
 市教育研究奨励校研究発表
 開校30周年記念式典
 11年 ボランティア推進校
 給食室・控室改修工事完了
 12年 校庭改修工事完了
 13年 コンピュータ室設置
 14年 市学童農園実施校指定
 17年 教育相談室開設
 18年 市研究協力校研究発表 (算数)
 20年 開校40周年記念式典 (1月)
 22年 市研究推進校研究発表 (国語)
 26年 市特色ある教育活動推進校 (体力向上)
 27年 都オリンピック・パラリンピック教育推進校
 28年 市研究推進校研究発表 (体育)
 29年 市特色ある教育活動推進校 (いのちの学習)
 開校50周年記念式典
 都子供の体力向上推進優秀校表彰
 30年 市特色ある教育活動推進校 (いのちの学習)
 都プログラミング教育推進校
 都パラリンピック競技応援校
 青少年赤十字加盟校
 令和元年 都プログラミング教育推進校
 コミュニティ・スクール設置
 2年 特色ある教育活動推進校 (いのちの学習)
 3・4年 特色ある教育活動推進校 (ICT教育)
 5年 体育館冷暖房設置

【教育目標】

児童が互いの人格を尊重し、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付けることを目指す。

また、自ら学び考え行動する個性と創造力豊かな児童の育成のため次の目標を掲げ、達成のため不断の努力をする。

<気品と気概のある子>

- 「かしこい子」 自ら学び 考えて行動し、責任をもつ子
 【思考・判断・表現力】
 「つよい子」 めあてを決めて 最後までやりぬく子
 【体力・調整力・粘り強さ】
 「やさしい子」 友達と仲良く協力し合う子
 【コミュニケーション力】

*教育目標の達成に向けて育てたい力を上記【 】のように設定した。

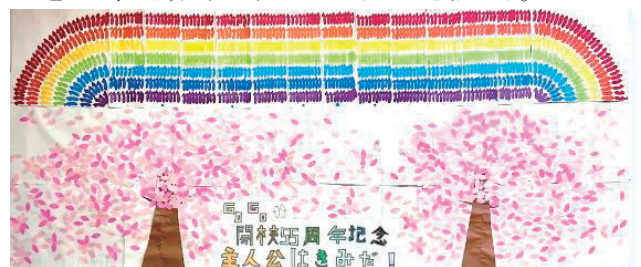


【教育目標を達成するための基本方針】

- 1 確かな学力の向上**
 - * 基礎的・基本的な学習内容の定着 (補充学習の実施・東京ベーシックドリルの活用)
 - * 主体的、対話的で深い学びのある授業の拡充
 - * 読書活動の充実
 - * GIGA構想に基づく授業の実践
- 2 健やかな心と体の育成**
 - * 運動の日常化、健康維持の習慣化の推進
 - * 幼・保・中・家庭と連携した体力向上
- 3 豊かな心の育成**
 - * 自己肯定感の醸成 (適時適切な価値付け、市等実施の諸作品募集への積極的参加)
 - * いじめの「予防」と「見逃しゼロ」の意識向上
 - * 規範意識の醸成「十一小あいいうえお」の実践
 - * 道徳教育の充実 (保護者・地域とともに)
 - * 校内研究「特別活動」の充実
 - * 特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的連携の強化
 - * 通常の学級におけるユニバーサルデザインの取組「わかる」授業の展開
 - * 特別支援教室「はなみずき」と通常の学級との協働
 - * 特別支援教育に関する理解の促進 (理解教育と教員研修の実施)
 - * 言語感覚の向上 (人権への意識、相手意識の向上)
 - * 言語環境の整備 (語彙の拡充、教職員の言語意識の強化)
 - * あいさつの充実・自学力の向上
 - * 危険を予測し、回避する判断力の育成
 - * 「生き方」を考えるキャリア教育の実践
- 4 地域・社会貢献意識の醸成**
 - * 「地域とのつながり」を感じる取組の充実 (ゲストティーチャー・地域住民等のボランティアの活用)
 - * 児童が地域へ直接働きかける (関わる) 活動の充実

【コミュニティ・スクールの取組】

- * 地域と協働し、学校の教育活動を持続性のあるものにする。
- * 「地域住民等のボランティア」など、学校での活動を通じて、地域の人と人とのつながりを強める。



開校 55 周年 全校アート



小平第十二小学校

所在地 小平市小川町一丁目464番地
 電話 042-342-1761 FAX 042-342-1760
 電子メール gakkou@12.kodaira.ed.jp
 校長 岩井 純一郎 副校長 吉田 務
 児童数 633名
 学級数 24学級（うち特別支援学級（知的障害〔固定〕）4学級）
 教職員数 33名

【沿革】（抜粋）

昭和43年 小平市立小平第十二小学校開校
 44年 校章制定
 プール完成
 46年 小平市教育研究推進校
 48年 校歌制定
 49年 体育館完成
 54年 開校10周年記念式典
 63年 開校20周年記念式典
 郷土室設置
 小平市教育研究奨励校
 平成2年 ランチルーム整備
 小平市教育研究奨励校
 6年 小平市教育研究奨励校
 10年 開校30周年記念式典
 11年 コンピュータルーム完成
 14年 東京都少人数学習集団による指導法研究推進校
 15年 けやき学級開設
 18年 小平市教育委員会研究推進校
 19年 小平市教育委員会研究協力校
 21年 開校40周年記念式典
 23年 小平市教育委員会研究奨励個人・グループ研究校
 24年 東京都スポーツ教育推進校・体育講師配置校
 東京都教育委員会「子供の体力向上推進優秀校」受賞
 東京都教育委員会スポーツ教育推進校・体育講師配置校
 東京都コーディネーショントレーニング実践研究校
 26年 東京都教育委員会オリンピック教育推進校
 28年 東京都教育委員会道徳教育推進拠点校
 29年 東京都教育委員会伝統・文化教育推進校
 30年 開校50周年記念式典
 31年 東京都教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進校
 小平市特色ある教育活動推進校
 東京都「法」に関する教育推進校
 令和2年 東京都「法」に関する教育推進校
 西校舎完成
 3年 コミュニティ・スクール設置
 東京都小学校体育研究会研究協力校
 小平市教育委員会研究推進校
 4年 小平市教育委員会研究推進校
 国立教育政策研究所教育課程実践検証協力校
 5年 プール改修工事完了



【教育目標】

- ◎明るく元気でたくましい子（重点目標）
- よく考えずんで実行する子
- たがいになかよくする子

【教育目標を達成するための基本方針】

- 6年間の系統性を踏まえ、各学年の基礎的・基本的な内容の確実な定着を目指す授業を創造する。児童に達成感・成就感を味わわせるような指導法を工夫する。常に指導と評価の一体化を図り、授業改善を図る。
- 身に付けた知識や技能を「活用する力」を育てるため、「主体的・対話的で深い学び」を意識した課題解決的な学習に取り組む。
- 児童が基本的な生活習慣を身に付け、健康・安全への意識を高め、すすんで運動に取り組み、体力の向上を図ることを目指す。体育授業及び体育的活動の充実を図る。さらに健康・安全教育、食育について専門的知識の導入を推進し、充実を図る。
- 「いじめ・暴力は絶対に許さない」ことを指導し、多文化共生時代に生きる児童の人権意識を高める。また、「きまり」の必要性や社会生活上のルールやモラルを分かるまで教え、規範意識を高め、集団生活を過ごせる態度を育てる。さらに、「あいさつ運動」を推進し、豊かな人間関係が築けるような児童の育成を図る。
- ICT機器を効果的に活用して、視覚的に分かりやすい授業を実施し、基礎・基本の確実な定着を目指すとともに主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。また、児童が学習者用端末を効果的に活用できる力を育成するとともに、情報モラル教育を推進する。
- 特別支援教育の充実を図り、心豊かな児童の育成を目指す。児童が落ち着いた学校生活を送ることができる環境づくりをする。また、特別支援教室の指導が効果的になるよう在籍学級と連携するとともに、全職員が特別支援教育への理解を深める。
- キャリア教育の推進を図り、児童が将来、社会人として自立して生きる力の基礎を育成する。他者との関わりを通して自尊感情を高めたり、一人一人のよさを発信したりできるようにする。また、様々な場面で、上級生が下級生の手本となるようにする。
- 学校全体の指導力が高められるような校内研究を推進する。教師一人一人が各種研修、他地区研究発表会へ積極的に参加し、自らの専門性の向上に努め、学んだことを校内にも広め、教員全体の専門性も高める。
- コミュニティ・スクールとして、保護者と地域と連携して児童を育てる学校経営及び教育活動を展開する。また、近隣校や近隣幼稚園・保育園、高校とも連携していく。



コミュニティ・スクール 体力テストボランティアとの連携



小平第十三小学校

所在地 小平市小川西町一丁目22番1号
 電話 042-342-1762 FAX 042-342-1763
 電子メール gakkou@13.kodaira.ed.jp
 校長 山倉 尚 副校長 佐々木 仁美
 児童数 388名 学級数 13学級
 教職員数 20名

【沿革】 (抜粋)

- 昭和43年 小平第六小学校より分かれて開校
 たいさんぼくを開校記念として植樹
 44年 校章制定 (たいさんぼくの花をデザイン化)
 45年 プール竣工
 47年 校歌制定
 49年 体育館竣工
 51年 小平市研究奨励校
 53年 開校10周年記念式典
 63年 開校20周年記念式典
 平成8年 十三小保護者と教職員の会発足
 10年 開校30周年記念式典
 11年 新校舎・特別教室完成
 14年 校舎耐震補強工事完了
 15年 エレベータ設置工事完了
 18年 校庭芝生化工事完了
 20年 開校40周年記念式典 小平市研究協力校
 21年 東京都スポーツ推進校 (2年間)
 22年 全国学校体育優良校
 25年 小平市教育委員会研究推進校 (2年間)
 28年 保護者による正門、北門の立ち番始まる
 「ふれあいパトロール」東京都教育委員会感謝状
 30年 開校50周年式典
 令和元年 小・中連携型コミュニティ・スクール設置
 2年 「子どもの体力向上推進優秀校」都教委表彰
 4年 単独型コミュニティ・スクール設置
 6年 小平市教育委員会研究推進校 (1年次)

【教育目標】

- ◎ 自ら考え行動する子ども ○ 仲良く助け合う子ども
 ○ 明るく元気な子ども



市内唯一の
 校庭芝生化
 ・裸足の運動会の実施
 ・裸足の休み時間の実施
 (5月～10月)



【学校の教育目標を達成するための基本方針】

自ら考え行動する子ども

- 自らの個性をよさと認識して生かしつつ、多様な他者を価値ある存在として尊重し、将来に向かって自ら学び、かかわり、他と共に生きる児童を育成する。
- 問題解決的な学習、個に応じた指導、学習者用端末の活用等を、日々の授業改善を通して充実させ、学習の個別最適化を図るとともに、各教科の基礎的・基本的な内容の確実な習得と定着をとおして学力の向上を目指す。
- 家庭学習の習慣を定着させるとともに、家庭での学習者用端末活用や個に応じた課題提示等を通して、家庭における学習の個別最適化を促し学力向上の一助とする。

仲良く助け合う子ども

- 特別活動を中核に、全教育活動を通して、自分も他社お大切にできる豊かな心を育てる。
- 特別の教科道徳や特別活動をとおして、いじめや偏見・差別を許さない指導の徹底を図り、正しい人権意識や規範意識を身に付けさせるための教育活動を推進する。
- 高齢者、障がい者、特別支援学校との交流を積極的に行い、豊かな人間性や社会性、共生の意識を醸成する。
- 特別支援教育推進の観点から、「こだいらこれだけは」を踏まえた学習環境の整備、特別支援教室との情報共有、関係諸機関や家庭との連携をより一層充実させる。

明るく元気な子ども

- 健全育成や心身の健康づくりのために、望ましい生活習慣の定着を学校と家庭とが連携して指導する。食と健康には、栄養士や校医・薬剤師等と連携した食育及び健康指導を積極的に推進し、家庭や地域への啓発に努める。
- 裸足の外遊びを市内で唯一実施できる全面芝生校庭の特性を生かし、運動する楽しさを味わわせ体力の向上を図るとともに、自ら運動に親しむ資質・能力を身に付けさせる。

その他の事項

- コミュニティ・スクールとして、地域と共に児童を育成する拠点として学校を構築する。



泰山木の花 花言葉「前途洋々」



小平第十四小学校

所在地 小平市仲町33番地
 電話 042-343-0201 FAX 042-343-0200
 電子メール gakkou@14.kodaira.ed.jp
 校長 三品 佳子 副校長 田山 剛丈
 児童数 366名 学級数 12学級
 教職員数 27名

【沿革】 (抜粋)

昭和44年 小平市立小平第十四小学校開校
 新築落成記念式典
 45年 プール竣工、校章制定
 48年 増築校舎(管理棟、普通教室4教室)完成
 49年 体育館完成
 50年 校歌・校旗制定
 54年 10周年記念式典
 平成元年 20周年記念式典
 9年 情緒障害学級(通級)「くすのき」開設
 11年 30周年記念式典
 13年 外壁塗装工事完了、コンピュータ室設置
 16・17年 文部科学省教育課程研究指定校(学校図書館との連携を深めた教育等の指導の在り方)
 19年 文部科学大臣表彰(読書活動)
 20年 耐震補強工事完了
 エレベーター・階段昇降機設置
 21年 40周年記念式典
 23年 東京都「生産体験の推進事業実施校」
 各教室に無線LAN設置
 24年 小平市「特色ある教育活動推進校(デジタル教科書活用)」
 24・25年 東京都「スポーツ教育推進校」
 25年 東京都言語能力向上推進校
 25・26年 文部科学省コミュニティ・スクール研究校
 26・27年 東京都言語能力向上拠点校
 小平市教育委員会研究推進校
 27年 東京都教育委員会 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 東京都教育委員会 日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業校
 小平市教育委員会 コミュニティ・スクールに指定
 28年 東京都教育委員会 情報モラル推進校
 29年 東京都教育委員会 日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業校
 東京都教育委員会 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 小平市教育委員会 特色ある教育活動推進校
 30年 東京都教育委員会 オリンピック・パラリンピック教育推進校
 「夢・未来」プロジェクト実施校
 小平市教育委員会 特色ある教育活動推進校
 令和元年 50周年記念式典
 東京都教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進校
 2～6年 東京都教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進校

【教育目標】

人権尊重の精神を基調に、心身共に健康で、知性と感性に富み、生涯学び続けようとする国際性豊かな日本人の育成を目指して、次の目標を掲げる。

- ◎ たくましい子 強靱な意志と実践力をもち、心身共に健康でたくましく生きる子ども(本年度の重点目標)
- 考える子 自ら学ぶ意欲をもち、主体的に問題を解決しようとする子ども
- やさしい子 自然を愛し、他人を思いやる豊かな心をもつ子ども
- おこなう子 勤労・奉仕の精神を尊び、自主的・自発的にすすんで行動する力をもつ子ども



【教育目標を達成するための基本方針】

夢や希望を育む学校 笑顔あふれる十四小

- 一人一人が大切にされていると実感できる学校
 - 満足そうな我が子の笑顔を見られる学校
 - 地域に根差し、地域を愛し、地域から愛される学校
 - 基礎となる学力の礎となる、わかる・できる授業
- 1 確かな学力の定着・向上
 - ・規律ある学習習慣(教職員100%、児童90%)
 - ・東京ベーシックドリルの継続的な取組。
 - ・話すこと、聞くこと、書くことの力を伸ばす取組。
 - ・読書活動の一層の充実。家庭学習の充実。
 - 2 授業力・生活指導力の向上
 - ・交換授業(教科担任制)の推進 低学年からの実施
 - ・一人1台端末を活用した授業実践。単元・教材開発。
 - ・学習環境・授業のユニバーサルデザイン化。
 - ・個に応じた指導・支援。くすのきとの連携。
 - 3 豊かな人間性の育成
 - ・基本的生活習慣の確立。
 - ・挨拶及び「はい」・「立つ」・「です」の定着。
 - ・相手意識をもった言葉づかい、適切な声の大きさ。
 - ・異学年交流活動及び道徳指導の充実。
 - ・いじめの未然防止、早期発見、組織的早期対応、早期解決、再発防止。
 - ・不登校の未然防止、対応・支援、関係機関との連携。
 - 4 健康でたくましい心身の育成
 - ・運動の日常化につなげる体育授業の充実。
 - ・体力テストの結果を受けた重点化と継続的な実践。
 - ・十四小トライアル、縄跳び月間、持久走月間等の実践。
 - ・食育に係る体験型学習活動の充実。休み時間の外遊び。
 - 5 保護者・地域から信頼される学校づくり
 - ・社会に開かれた教育課程の実現。
 - ・HP、学校ブログの更新や学級通信による広報活動の充実とPR。
 - ・保護者と教員が、子どもへの期待・願いを共有する。
 - ・地域人材の積極的活用、単元開発。
 - ・子どものための小中連携の充実。
 - ・学校経営協議会を活用し、委員、地域の力を取り入れる。
 - 6 人材育成、服務事故防止
 - ・自己研鑽+組織的な育成、職層に応じたOJTの実施。
 - ・ヒヤリハットも服務事故と考え、未然防止に努める。
 - 7 働き方改革・風通しのよい学校
 - ・退勤予定時刻の申告。計画的な休暇の取得。
 - ・無理・無駄・ムラをなくし、工夫改善を常に考える。



ゴールボール女子
 ロンドンパラリンピック
 金メダリスト
 安達阿記子選手による
 「講話」



小平第十五小学校

所在地 小平市小川町二丁目1136番地
 電話 042-343-0203 FAX 042-343-0204
 電子メール gakkou@15.kodaira.ed.jp
 校長 深野 義法 副校長 小林 敦子
 児童数 508名 学級数 17学級
 教職員数 34名

【沿革】 (抜粋)

- 昭和44年 現小平市立小平第四小学校内に小平市立小平第十五小学校として設置・開校
- 45年 プール竣工
- 47年 小平市教育委員会研究推進校研究発表会
- 49年 校章制定、体育館竣工、北校舎増築
- 50年 校歌制定
 焼窯設置 (充吾庵窯と命名)
- 54年 開校10周年記念式典
- 平成元年 開校20周年記念式典
- 4年 ランチルーム整備工事
- 8年 東京都学校給食優良校表彰
- 11年 開校30周年記念式典、祝賀会
 コンピュータルーム完成
- 12年 小平市教育委員会研究協力校研究発表会
- 14年 二中地区教育サポートネット推進校
- 15年 学校給食の学校・家庭・地域連携推進校
- 16年 耐震補強工事完了
- 17年 小平市教育委員会研究推進校指定 (国語科)
- 18年 小平市教育委員会研究協力校研究発表会
- 19年 小学校英語活動等国際理解活動推進事業拠点校 (文部科学省)
- 21年 学校動物飼育モデル校事業学校奨励賞
 開校40周年記念式典、祝賀会
- 23年 よつば学級 (通級学級) 開設
- 25年 普通教室、特別教室冷房化工事完了
- 26年 東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校指定
- 27年 東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校研究開発校指定
- 28・29年 東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校指定
- 令和元年 開校50周年記念バルーンリリース
 開校50周年記念式典・祝賀会
- 4年 コミュニティ・スクール設置
- 6年 特色ある教育活動推進校

【教育目標】

- (1) ◎考える子
 自分の考えをもち、すすんで取り組める児童
- (2) ○思いやりのある子
 自らを律しつつ、相手の立場や気持ちを考えて共に生きる豊かな心の児童
- (3) ○たくましい子
 健康でねばり強い心と体力をもち、たくましく生きる児童



学習者用端末を使った授業 (国語)



【教育目標を達成するための基本方針】

しっかり学び、元気と笑顔あふれる十五小

感謝し、楽しみ、味わい、共に分かち合う十五小

小平第十五小学校に学ぶ児童一人一人が、確かな学力とたくましく生きる力を身に付け、心豊かに育つよう、すべての児童の人権や個性を大切に、豊かな社会性や自主性を育てる。そのため、どの児童も、毎日を元気に楽しく過ごし、しっかり学び、そのことに感謝し、味わい、共に分かち合うことができる学校づくりを目指す。

【今年度の教育活動等の目標と主な方策】

- (1) 学力の向上と保障
 - 「学ぶ喜びや楽しさを実感し、意欲的に学習の課題、学習する方法をつかみ、最後まで追求し、解決する子」 (自立)
 - ・「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」、「学びに向かう力、人間性等」を着実に身に付けるために「主体的・対話的で深い学び」を追求した授業改善。
- (2) 人権尊重の精神の醸成と心の教育の充実
 - 「感謝と楽しさを味わい、共に分かち合う子」 (自立)
 - ・「感謝」と「楽しさ」、「味わい」、「分かち合い」をキーワードに教育活動を進め、月開校記念日である15日を「十五の日」と設定することにより、わくわくする活動を通した『十五小のこどもでよかったな』という気持ちの実感。
- (3) 体力の向上と健康な心
 - 「自分の体に関心をもち、楽しんで体を鍛え、健康的な生活を送ることができる子」 (自立)
 - ・運動の特性を踏まえた体育の授業展開と運動時間の確保。
- (4) 安全・安心な学校づくり
 - 「安心して教室で過ごすことができる子」 (共生)
 - ・学校を取り巻く様々な危機に対しての意識を向上させ、安心・安全な環境づくりに努めるとともに自分の身は自分で守ることのできる児童の育成。
- (5) 特別支援教育の充実
 - 「自分の可能性を信じる子」 (自立)
 - ・すべての児童一人一人の良さを認め、より伸ばす教育の実施に向けたユニバーサルデザインの視点における教室環境の整備とスモールステップでの段階的指導の促進。
- (6) 家庭・地域と共に歩む学校づくり
 - 「自分の住んでいる地域に関心をもち、地域の一人として役に立とうとする子」 (貢献)
 - ・学校経営協力者会議と連携した学校運営の実施。



花小金井小学校

所在地 小平市花小金井一丁目35番地1号
 電話 042-463-5051 FAX 042-463-5052
 電子メール gakkou@17.kodaira.ed.jp
 校長 三坂 明子 副校長 四宮 範明
 児童数 703名 学級数 23学級
 教職員数 33名

【沿革】 (抜粋)

- 昭和48年 小平市立花小金井小学校として開校
- 49年 校章制定、プール完成
- 51年 市研究奨励校研究発表会
- 52年 校歌制定、校旗作成
- 57年 青少対花小地区委員会発足
- 58年 開校10周年記念式典
市研究奨励校研究発表会
- 61・62年 市研究奨励校研究発表会
- 平成5年 市研究奨励校研究誌上发表
開校20周年記念式典
- 9年 東京都ボランティア協力校 (平成9～11年度)
- 11年 市特色ある教育活動推進校
- 12年 市教育研究推進校
ボランティア推進校
- 13年 小平市教育研究協力校研究発表会
ボランティア推進校
- 14年 市特色ある教育活動推進校
- 15年 開校30周年記念式典
- 17年 東京都情報モラル教育実践モデル校研究発表
- 20年 市教育研究推進校
- 21年 市教育研究協力校研究発表会
- 22・23年 東京学芸大学との連携事業
- 25年 開校40周年記念式典
- 25・26年 市教育研究推進校
- 26年 市教育研究推進校研究発表会
給食民間委託開始
- 31年 増築校舎完成
- 令和元・2年 特色ある教育活動推進校
文化プログラム・学校連携事業 (地域連携型指定校)
- 3年 コーディネーショントレーニング地域拠点校
- 5年 コミュニティ・スクール設置
開校50周年記念式典
- 6年 増築校舎完成

【教育目標】

人権尊重の精神を基盤に、

人間性豊かでたくましく生きる児童を育成する。

- かしこく …主体的に問題解決に取り組み、自分の考えを表現できることも
- つよく …健康でたくましい心身をもち、目標に向かって粘り強く努力することも
- やさしい子…自分も友達も大切にすることも



運動会 6年生組体操



【教育目標を達成するための基本方針】

「未来への夢や希望が抱け、学ぶ楽しさがいっぱい」の学校

1 学力向上

- ・明確な「めあて」の提示と「振り返り・まとめ」のある授業実施
- ・算数における習熟度別指導と個別指導の充実
- ・問題解決型の授業を展開した思考力・判断力・表現力の育成
- ・読書活動の推進による豊かな情操や思考力・情報活用能力の育成 (読書マラソン、読書表彰、花小おすすめの本100冊、年3回の朝の読書旬間)
- ・各教科と関連させた横断的・総合的な学習による、自ら課題を見つけ、主体的に考え、探求する力の育成
- ・学習者用端末の効果的活用

2 豊かな体の育成・体力向上

- ・外遊びの奨励、全校での持久走、なわとび活動等による基礎体力の向上
- ・運動量を確保した体育授業の実施と、体力調査の結果に基づいた体育授業の改善
- ・健康教育を充実させ、自ら考えて、バランスよく栄養を取ろうとする児童の育成

3 豊かな心の育成

- ・特別活動、道徳教育等を中心に、命を大切に思う心情や自他を思いやる心の育成
- ・こどもが多様性を尊重し、互いのよさや違いを認め合える人権教育の充実
- ・こども同士及びこどもと教員の信頼関係を築き、学校や学級での居場所づくり
- ・「学校いじめ防止基本方針」の周知徹底、いじめの未然防止、早期発見、早期対応
- ・教育相談体制の充実等、不登校児童への組織的な対応の確実な実施
- ・道徳教育、キャリア教育、情報モラル教育の推進
- ・規範意識の向上に全校一致での取組による生活指導の徹底

4 特別支援教育の充実

- ・一人一人への適切な指導・支援 (すべてのこどもたちを大切にす指導・支援) の充実
- ・わかりやすく集中しやすい授業・教室づくり (「小平これだけは」の徹底)
- ・校内委員会による組織的な支援の充実
- ・スクールカウンセラー・特別支援教室「くすのき」・関係機関との連携強化

5 特別活動の充実

- ・こどもが主体的に活躍できる機会や場の設定、成功体験を積みこつことで自信をもたせることによる自己肯定感、自己有用感の醸成
- ・学級の課題を見だし、よりよく解決するため、話し合つて合意形成し実践する学級活動の実施
- ・ねらいを明確にした児童会・クラブ活動や学校行事等の実施

6 地域・保護者・関係機関との連携

- ・学校経営協議会、保護者の会、青少対、各自治体・子ども家庭支援センター等との連携、地域を生かした教育活動の実施

7 小・中連携、近隣小学校・幼稚園・保育園との交流

- ・小学校から中学校へ連続し系統性ある指導の推進
- ・幼稚園・保育園から小学校への円滑な接続



鈴木小学校

所在地 小平市鈴木町一丁目450番地
 電話 042-324-3661 FAX 042-324-3662
 電子メール gakkou@18.kodaira.ed.jp
 校長 細萱 希彦 副校長 長坂 美貴
 児童数 328名 学級数 13学級
 教職員数 29名

【沿革】 (抜粋)

- 昭和51年 小平市立鈴木小学校開校
 52年 校旗・校歌制定 市研究奨励校「特活」
 53年 観察池完成、市研究奨励校発表「特活」
 57年 市研究奨励校発表「社会」
 58年 地下道完成
 61年 開校10周年記念式典
 平成元年 市研究奨励校「全教科」
 2年 文部省研究協力校発表「生活科」
 5年 児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校
 7年 開校20周年記念式典・ボランティア活動推進校
 8年 文部省スクールカウンセラー活用調査研究協力校
 児童・生徒のボランティア活動推進校
 9年 文部省スクールカウンセラー活用調査研究協力校
 10年 鈴木遺跡資料室開設
 13年 小平市研究推進校
 14年 小平市研究協力校
 16年 小平市特色ある研究推進校
 地域交流こどもセンター設置
 18年 コミュニケーションクラス「わかば」開設
 小平市特色ある研究推進校・開校30周年記念式典
 20年 小平市研究推進校
 21年 小平市研究協力校発表 (特別支援教育)
 22年 東京都スポーツ教育推進校 (2年間)
 25年 小平市特色ある教育活動推進校
 26・27年 東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校
 28年 開校40周年記念式典
 令和3年 特色ある教育活動推進校
 5年 小平市教育委員会研究推進校 (1年次)
 令和5年度教育課程実践検証協力校
 東京都型学校運営協議会設置
 6年 小平市教育委員会研究推進校 (2年次)
 令和6年度教育課程実践検証協力校
 コミュニティ・スクール設置

【教育目標】

「よく考え やさしく 元気な 鈴木の子」

- ◎基礎・基本の習得とそれを活用する力を身に付け、根拠を明確に自分の考えをもち、判断し、行動できることも
- ◎自他の生命を尊重し、自分も友達も大切にできることも
- ◎自己有用感を高め、心身ともに健康で、粘り強くやり抜くことも



自尊感情の醸成「いいねさんの花」



【教育目標を達成するための基本方針】

「やる気いっぱい 思いやりいっぱい ふれ合いいっぱい 鈴木小」のスローガンのもと「主体性」と「粘り強さ」を大切にしながら、何事にもチャレンジする気運を醸成し、人とのふれ合いを通して、相互に高め合い、成就感や達成感ですべての人が笑顔になれる教育活動を展開する。

① 確かな学力の向上

授業改善による主体性を育成する。学習者用端末の有効活用も含めて基礎学習を積み上げ知識・技能の確実な定着を図る。小平市教育委員会研究推進校として、問題解決型の授業を推進し、自ら考え、根拠を明確にして伝え合う主体的・対話的で深い学びを実践し、学びの質を高める。自主学習を通して、学び続ける喜びを実感させる。

② 健やかな体の育成

自発的に体を動かす意欲を高め、運動の日常化を図る。様々な運動の定期的な取組や、オリンピック・パラリンピック教育を推進し、健やかな体を育てる。

- 体力向上の意欲を高める授業改善
- 休み時間の活用 (児童発案)
- 自分も相手も大切にすることの育成
- 障がい者理解、豊かな国際感覚の育成

③ 豊かな心の育成

自分が大切にされ役割を実感することで自己肯定感を高め、人や集団との関わりを通じた人権教育を推進する。道徳教育を充実し、自他を認め合う心の醸成を図る。

- 「自らすすんで、目を見てあいさつ」の推進
- 「いじり・いじわる・いやがらせ」の根絶と年3回いじめに関する授業の実施
- 各教科と関連した道徳授業の実践

【「学校経営の基本方針」の具現化に向けた特色ある取組】

◇自立の促進

児童発案を大切にし、話し合い、判断し、行動する機会を重ねて自信をつける。特別活動を充実し、自己の生き方への考えを深め、自分の人生を自分で創っていく意志を育てる。

- 児童発案の活動の推進
- 自ら考え命を守る能力の育成
- たてわり班活動の充実
- 安全に貢献できる能力の育成

◇郷土愛の醸成

保護者や地域人材、学校経営協議会等の関係諸機関との連携を強化し、郷土を愛する心を育てる。

- 学校支援組織の活動への積極的な参加
- 避難所運営委員会との連携で危機管理能力の育成
- 地域支援コーディネーターと連携した地域人材の積極的な活用

◇特色ある教育活動

- すすんでみんなと最後までチャレンジする
- 児童発案の活動を全学年で実施する
- 学級学年や学校は自分たちでつくる
- 上級生への憧れで下級生を育成する
- 国指定鈴木遺跡資料館・あおぞら福祉センターとの連携

◇教師の資質向上・組織貢献

- 研究を通して教員の授業力の向上を図る



学園東小学校

所在地 小平市学園東町二丁目15番1号
 電話 042-344-6801 FAX 042-344-6802
 電子メール gakkou@19.kodaira.ed.jp
 校長 阿原 正人 副校長 植木 陽子
 児童数 370名 学級数 13学級
 教職員数 20名

【沿革】 (抜粋)

- 昭和52年 小平市立学園東小学校開校 プール完成
- 53年 校章決定 体育館工事完了 つげの木200本植樹
- 62年 創立10周年記念式典挙行
- 平成9年 創立20周年記念式典挙行
- 13年 東京都学校給食優良校表彰
- 15年 学校給食優良校文部科学大臣表彰
市研究推進校・協力校研究発表会（生活科・総合的な学習の時間）
- 18年 コミュニティホール設置
- 19年 創立30周年記念式典挙行
- 20年 耐震補強工事・バリアフリートイレ設置
- 21年 「放課後子ども教室」開始
- 22年 太陽光発電設備設置
市研究推進校・研究発表会（国語）
- 25年 コミュニティ・スクール研究校（文科省）
- 26年 コミュニティ・スクール研究校（文科省）
コミュニティ・スクール研究発表会
- 27年 コミュニティ・スクールに指定
- 28年 キャリア教育表彰（文部科学大臣）
給食民間委託開始
- 29年 東京都体力向上推進優秀校表彰
創立40周年記念式典挙行
- 30年 市特色ある教育活動推進校（体力向上）
- 令和3年 東京都体力向上推進優秀校表彰
- 4年 特色ある教育活動推進校（ICT活用）
租税教室感謝状（東村山税務署）表彰
- 5年 特色ある教育活動推進校（算数・ICT活用）
校舎外壁塗・装屋上防水工事、プール改修工事
- 6年 体育館空調設備設置

【教育目標】

「やさしく 元気な がんばる子」

◎「思いやりのあるやさしい子」

人・生き物・ものにやさしく接し、思いやりの心をもってともに生きていくことができるこどもの育成を図る

○「心も体も元気な子」

基本的な生活習慣を確実に定着させ、健康・安全に留意して生活することができるこどもの育成を図る

○「目標をもってがんばる子」

基礎・基本の学力を確実に定着させ、主体的に学び、自律できるこどもの育成を図る



春の生き物を探して
(生活・図画工作)



【教育目標を達成するための基本方針】

笑顔と夢があふれ コミュニティで 育む 学園東小
～人にやさしく 自分につよく 元気にがんばる こどもの育成～

1 学力向上

- ・「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」の柱や「主体的・対話的で深い学び」の具現化
- ・基礎基本の定着と学力の向上、「学園東これだけは（学習編）」の実施
- ・ICT機器の活用（学習者用端末、実物投影機、大型テレビ、デジタルカメラ等）による授業改善
- ・地域とかかわる学習の開発や充実
- ・家庭学習の習慣化について家庭への呼びかけ

2 体力向上

- ・体力調査の結果を生かした体育授業の工夫・改善
- ・外遊びの奨励や体力向上にかかわる取組の日常的な推進
- ・体力、健康、安全に関する教育の充実
- ・体育朝会（運動サーキット）等の実施（1校1取組）
- ・生活安全（防犯教育）、交通安全、災害安全に関する指導の充実

3 健全育成

- ・いじめをはじめとするいかなる差別や人権侵害も許さない、自分の大切さとともに他の人の大切さを認める人権教育の推進（「人権教育プログラム」の活用）
- ・「学園東小これだけは（生活編）」を活用した全校共通した指導、あいさつ運動の全校取組、いじめの解消・不登校への組織的な対応の徹底
- ・たてわり班活動による異年齢集団の交流や地域・保護者との交流、ふれあい活動
- ・多様性を尊重し、誰もが自分らしく安心して生活できる取組の推進

4 特別支援教育の推進

- ・特別支援教育の視点による学級・学校づくりを行い、どの子どもも授業への集中や周囲とのコミュニケーションがよりよくできるようにする。
- ・特別支援校内委員会を「子ども支援委員会」とし、特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な支援体制を確立するとともに、スクールカウンセラー、特別支援教室巡回教員・専門員、各関係機関との連携を深める。

5 キャリア教育の推進

- ・コミュニティ・スクールとして家庭・地域と連携し、地域力を活用して、地域参画型授業を積極的に取り入れたキャリア教育を進め、地域とともにある学校づくりを目指し、地域による家庭教育への支援を充実させる。
- ・児童が主体的に自分の進路を選択する能力・態度を育成し、自己の良さを伸ばしていくようキャリア教育の充実を図る。



上宿小学校

所在地 小平市小川町一丁目327番地
 電話 042-345-0041 F A X 042-345-0056
 電子メール gakkou@20.kodaira.ed.jp
 校長 齊藤 祐介 副校長 井出 史進
 児童数 324名 学級数 12学級
 教職員数 19名

【沿革】 (抜粋)

昭和55年 小平市立上宿小学校開校
 校章制定
 56年 校歌制定
 57年 「全日本よい歯」の学校表彰を受ける。
 プール落成
 小平市研究奨励校として研究発表会 (体育)
 62年 理科流水実験・観察池完成
 平成元年 開校10周年記念式典
 11年 開校20周年記念式典
 12年 パソコン教室完成
 14年 小平市研究推進校 (国語)
 ボランティア活動協力校 (平成14～16年度)
 東京都学童農園設置モデル校
 15年 小平市研究協力校研究発表会 (国語)
 16年 プール改修工事 (温水シャワー・床等)
 17年 小平市「特色ある教育活動」推進校 (算数)
 ボランティア活動推進校 (平成17～19年度)
 小平市「特色ある教育活動」推進校研究報告会
 (算数)
 21年 耐震補強工事
 22年 開校30周年記念式典
 23・24年 東京都スポーツ教育推進校指定
 25年 「特色ある教育活動」推進校 (健全育成)
 26～28年 東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校
 28・29年 小平市教育委員会研究推進校 (共尊感情)
 29年 上宿小キャラクター制定
 令和元年 開校40周年記念式典
 ニコニコの庭・記念ソング完成
 3年 東京都型学校運営協議会設置
 学習者用端末配布
 4年 コミュニティ・スクール設置
 特色ある教育活動推進校 (主体的な学習)
 5年 特色ある教育活動推進校 (主体的な学習)

【教育目標】

日本国憲法、教育基本法 の精神に則り、公教育としての責任を明確にし、東京都及び小平市の教育目標を踏まえ、心身ともにたくましく知性と感性の豊かな児童の育成を目指して次の目標を設定する。

- やさしい子 ～豊かな人間性～
相手の心情を考えるやさしさと連帯性の育成
- ◎かしこい子 ～確かな学力～
豊かな情操に支えられた創造的思考力の育成
- がんばる子 ～たくましさ～
ねばり強く追求する意志力の育成
- じょうぶな子 ～健康・体力～
心身ともに健康で前向きに生きる力の育成



【教育目標を達成するための基本方針】

児童や保護者・地域・教職員など、学校に集う一人一人が居場所を共に創り合い、「楽しい」「明日も来たい」と思える学校づくりを行うことで、知徳体のバランスのとれた児童を育成する。

○[学力の向上]

校内研究や日常的な研修を通して授業改善を行い、児童がめあてをもち主体的に学ぶ楽しい授業を実践することにより、「できた」「分かった」「やってみよう」を味わわせ、学習の基礎・基本の確実な定着と深い学びの実現を図る。

○[健全育成]

「ほめる」「認める」指導を重点とし、安心できる居場所づくりを行うことで、人権尊重の理念に基づき自他を大切にすることを育てるとともに、規範意識を高め、基本的な生活習慣の定着を図る。

○[特別支援教育の推進]

学級での日常的な支援と組織体制を向上させることにより、こども理解を深め、こどもたち一人一人に合った、どの子にも分かりやすい指導の実現を図る。

○[体力の向上]

体育授業の充実やオリンピック・パラリンピック教育の発展・定着などにより、運動好きで日常的に運動に親しむことのできる児童の育成を図る。

○[キャリア教育の推進]

特別活動と総合的な学習の時間を柱として、勤労観・職業観を育むことにより、自分のよさに気づき、将来の生き方や生活について前向きに考え、ねばり強く行動する児童の育成を図る。

○[地域連携の推進]

コミュニティ・スクールのよさを生かし、地域の教育資源を積極的に活用することにより、学びの可能性を広げ、地域と学校が協働して児童の育成を推進する。

○[情報教育の推進]

G I G Aスクール構想を受け、学習者用端末やその他ICT機器の効果的な活用を推進することにより、個に応じた学びを実現させ、主体的に学ぶ力と情報活用能力の育成を図る。



園芸委員会の児童と地域の方が共に整備する、開校40周年記念憩いの広場「ニコニコの庭」☺